

オンラインでSASセミナー

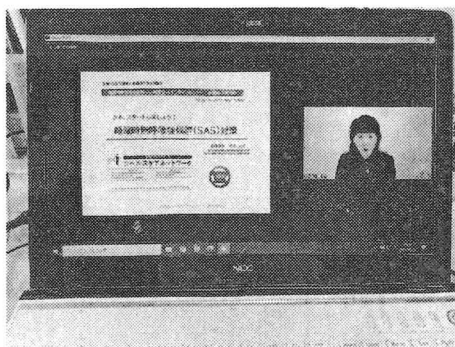
全ト協が会員対象に開始

「基礎編」「運用編」各4回

全日本トラック協会は、23日からオンライン型式の睡眠時無呼吸症候群(SAS)のセミナーを会員を対象に始めた。新型コロナウイルス禍で参加者が密になりやすい状態を避け、オンライン型式で実施しているもので、「基礎編」と「運用編」に分け、それぞれ4回開催する。講師はNPO法人へルスケアネットワーク(OCHIS)の作本貞子副理事長で、モニタリングしながらわかりやすくSASの特徴から検査の進め方、検査の有効な活用方法を説く。

「基礎編」は今後8月19日、10月20日、来年2月16日に開催する。また、SAS対策にすでに取り組み、ドライバーらが精密検査でSAS確定診断を受けた場合の治療方法や社内のルール作り

など「運用編」は7月15日、9月15日、11月25日、来年1月19日に開く予定。ただ「運用編」の7月15日はすでに申し込みが定員に達している。各回50人。申し込み、問い合わせはOCHIS 06・6965・3666まで。



オンラインでSASを説明する作本副理事長

23日は「基礎編」の第1回目、またSAS対策に取り組んでいない事業者ら約50人がZoomで参加。作本副理事長がモニタリングに指標や事例、動画を映し出しながらSASの原因、影響などを説明し、費用が全ト協の補助対象となるスクリーニング検査を勧めた。